第三百十四號 NAMBEI SHIMPO 28 de NOVEMBRO de 1940

南米新報
NOTICIAS DA GUERRA EUROPÉA E SINO-JAPONESA
サンパウロ市ピンヘイロ地八三八番
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三〇
廣告料 一段 七〇〇

歐洲の諸國は漸次獨伊樞軸に加盟

英國は愈々歐洲から孤立

△ 先週中の獨英戰況を綜合して考察するにドイツ側は依然として、空軍の密集進擊戰法を以つて英本土を脅かしつ、飛行場を狙ひ、敵空軍の主力を攪亂し、併せてドーバー海峽を制覇して佛海岸に待期中の味方をして一刻も速に上陸せしめんと苦心して居るもの、如くである。ベルリン發APの報によれば先週末はバーミンガハム市の飛行場を空襲し同時に諸工場に爆彈の雨を降らせ、各所に火災を起させたが火焔は遠く海岸一帶に及び凄慘を極めた。又ドーバー海峽を距て、佛海岸に於ける獨軍砲兵陣地からは、かつてバリー砲擊の際使用した（一〇二粍の遠距離から）遠距離砲を廿二日初めて使用したと云ふ。

一方ロンドンに於ては金土の兩日とも午后六時半より八時に亘り獨機の猛襲を受け、ミドランドに於ては多數の住宅が爆擊され多大の損害を被つたが、同樣にリバープールに於ても例に依つて例の如く各所に投爆され多數の死傷者を出した是れを英國側の（日）報に依れば金曜日夜敵機ドルニエル二一五號がサレー方面の上空を飛翔しつゝ、暴威を逞しうして居たところ、突如として迎擊に向つた我軍のハリケーン二機に追はれ遂に擊墜されたが、その時獨機は一萬六千フィートを飛翔中であつた。

と、更に英空軍の獨陣地への空襲に就て廿四日APの報に從へば次の如くである英空軍は廿四日午前一時を期してベルリンを猛擊に向つたが、折柄月明の夜にして飛行上些少の支障を蒙らずポツダメール、リイテル、ルトリツサツセ等の各驛を爆擊したが何れも猛火に包まれた。其他クルツプ砲兵工廠を襲ひ、續いてライプチヒ、ヅエスデルグ、リユーロツト等軍需工業の中心地帶に猛爆を加へた、と。

北阿弗利加遠征の伊太利軍戰況

各戰線を空襲す

醸つてイタリア側の戰況について先週末曜日伊軍司令部の發表によれば左の如くである。

即ち伊空軍は水曜日ギリシヤの各空軍基地並にピンドス山脈のトリカラ地方及びホリツア戰線の敵軍事重要據点に向つて爆擊を行ひ、一方に於てマルタ島を空爆して飛行場や海軍工廠に投彈して火災を發せしめた。

また北アフリカの戰線に於ては伊空軍は優勢なる英空軍と遭遇し、空中激戰の結果敵機七を擊墜、尚他の戰線に於てはエジプトのアレキサンダー港、アルサマトルー、その他イギリス側の重要飛行場、カイロに於ける鐵道主要驛を空襲して夫々大損害を與へた。

新秩序の建設に樞軸の強化

三國新に加盟

先月末より今月初旬にわたり所謂歐洲新秩序樹立を目指す獨伊樞軸と、歐洲諸國引き入れ運動の爲め外交界は未曾有の活氣を呈したと謂はれるが、果然ハンガリーを加盟せしめる事に成功し、先週水曜日を期し同國の三國同盟加盟に關する獨伊ハンガリー四國同盟の歴史的調印式が、同日午后零時半からウイーンのベルデー宮に於て行はれ、我國よりは來栖大使及び加瀬參事官等、ハンガリー側からはテレキー首相、チヤーキー外相等の代表團、またドイツよりはヒツトラー總統リーベントロツプ外相を筆へ、イタリア側からはチアノ外相を主班とする一行列席、嚴に調印式を終へた右に就て獨外務省は次の言明を行つた。

三國條約の目的は戰爭の擴大を防止し、これに對する金城鉄壁を築くに在り、三國同盟の目標は軍事手段によるよ外交的方法に依るとを問はず、各々の生存圏に適秩序を建設して各民族の福祉を增進するに在る、今回ハンガリーが進んで加盟したのは從來獨伊が終始同國を支持し、流血の慘を見ずして失地を回復せしめたる等の事實あり、これに依つて同國も新秩序建設に積極的に協力することゝ、なつた譯である。

と言つたが、ハンガリー政府當局も亦コミュニケを發し『日獨伊三國の過去に於ける成功に愈々力を得、更に堅く手を握つて不當侵略の絶滅、歐洲により高度な政治的經濟的新秩序の建設に貢献せんとして、今回三國同盟に加入した』と自國の立場を明かにした。

ハンガリーに續いて廿三日ルーマニア、廿四日はスロバキアがベルリンに於て正式同盟加入の調印を了した。

日本全体の關心を集めつゝある南方諸國にはアメリカ艦隊とシンガポールを除けば、軍備らしい軍備はないと云つても過言ではない。極東および南方に勢力を獨占して居たのは、常に歐米の艦隊であつたのである。試みに歐洲大戰勃發前の大体の列國勢力關係を見ると

英國 支那艦隊＝巡洋艦五、驅逐艦一〇、潜水艦一五、河川砲艦一、掃海艇九、航空母艦一、スループ五、敷設艦一、護送艦五他に特務艦。

佛國 東印度艦隊＝巡洋艦四、驅逐艦一〇、水上機母艦一。印度支那艦隊＝スループ四。

米國 亞細亞艦隊＝巡洋艦四、驅逐艦一三、潜水艦六、母艦一、特務艦二、ヨツト一となつて居る。

東洋の關門新嘉堡

最大關心事は米國艦隊の動向

いまや佛蘭西は沒落し英艦隊は故國の急におもむいて、東南洋に於ては共に問題とするに足りない、從つて眞に警戒を要するのは米國だけと云ふことが出來るしかも單にアジア艦隊だけでなく、百万トンを擁する全米海軍の約九割が太平洋に巡航して居る現狀を見る時、特にアメリカの動向は注目に値するものである。

シンガポールは東洋の西の關門である、オホツク海、黄海、南支那海を瀬戸内海と見れば、シンガポールは馬關に當る。太平洋交通の二パーセントがパナマ、八〇パーセントが實に、シンガポールであり日本貿易の四八パーセントがこゝを通過して行はれる實情を知るとき『これで東洋の基礎が固められた』と同港を手に入れた際語つたラツフルス卿の言葉が如何に重大な意味を持つものか、よく判るのである。水面積は我が佐世保に西敵し、五万五千トンの浮ドツク及び五万トンの新ドツクは、二隻の主力艦を容るに足るもので現在は局地的防備のみで、海上部隊は姿を見せぬとしても、一たび英國の敗殘艦隊或ひは米國艦隊がこれを利用するとなれば、可なり重要な意義をもつものとなるのは明らかである。

南方の海洋にはバンダ海セレベス海、スール海、南支那海等四千メートル以上の深海か相接して並んで居る、ことにフイリツピンに面するところにも四千五百メートルに達する二列の大海溝がある。

東方の海溝は、世界有數の深度をもち、スワイヤ海淵は九千八百メートルにも及びスンダ港の南方インド洋に面するところにも四千五百メートルに達する二列の大海溝がある。

南方問題は政治的解決有るのみ

更に重要性を增す

タイ灣、ジヤヴア海、ベーグは淺く、しかも曹通入陣棚と呼ばれる二百メートル以内の淺瀬がスマトラ、ジヤヴテ、ボルネオの諸島を包み、無數の島嶼が点在して、複雜極りない水路を形成して居る、氣象は穏かで潮流も局部的には猛烈であるにしても、大体は平穏であるが、以上の如く水路が複雜であるゆへに、大海戰は到底おこり得ない、若し戰雲が捲き起るとすれば、とにかく問題ではない

南方問題の重要な鍵として衣食住、日常の起居、動作凡てわが民族に近似し、しかも絶對の親日態度を持して獨立の氣分に燃えて居る唯一のビルマ民族が、佛印の西にあることを知らねばならぬし、單なる經濟的解決などでは最早南方問題は十分な成果をおさめることでは不可能であり、政治的解決のみが凡しゝある事實を直視するとき、この問題はさらに重要性を增すのであるが、軍備兵力の問題としては、米國艦隊とシンガポールが最大關心事であると云はねばならぬ。

（東京特報）

獨逸新聞が觀たる日本の好機會

ラン印は事實は無主の地

近著の獨逸紙フランクフルト・ツアイツングは現下日本の國際情勢を批評して次の如く語つて居る日本にはまだ前進すべき余地が殘されてゐる……支那以外に於て歐洲に於ける戰爭が、こゝ点に關する日本のチヤンスを改良したのである。ラン領東インドは、法律上はまだウヰルヘルミナ女皇の領土であるが、事實上は無主の地であゝ、佛領インド支那側國境は日本軍によつて占領されて居り英領香港も亦その近所にある。

歐洲の大戰亂は自動的に極東に於ける日本の地位を強化したのである。此等の植民地の何れかを一つ占領しても、夥しき經濟利益をもたらすのである。此所にこそ日本は差押へ……することの出來る巨大な外國投資を發見する。また此所にこそ日本は對支作戰を繼續し、それを成功裡に終結させるに要する資源の莫大なる量を發見することが出來るのである。

肚の修養禪の話

有馬寺話

山田靈林稿
無文漠敷衍

（四十）

それを如何に解き裁くかによつて己れの死活が決せられる問題となる事があるか、るとき、この事項のことを特に公案といふ。

先人の迹を尋ねると野逸の名もなき草一本が公案となつたことがある、路の端の小石が公案になつたこともあゝ、犬の鳴き聲でも猿のあくびでも、月でも花でも雲でも何でも時あつて、學人に取つて、それが公案となることがある。

△

筆者らは或る參禪會で一つの公案に逢著した、夜坐のときである（夜の坐禪）坐つて二三十分もたつた頃であつた。坐堂の片隅でピシツ！ピシツ！といふ音がした。單頭和尚が接得を始めたのである。

●註、單頭とは僧堂にあつて學人の指導とは僧堂の役人で西堂、後堂、單頭といふ三役の一人。接得とは警棒を以つて學人の肩を打つて警覺することを云ふ、本來の意味は必ずしも打つことに非ず學人を引接し導くことなり。

ピシツ！ピシツ！ピシツ！ピシツ！と音は次々と續いた。すらりと居並んでゐる人々を將棋仆しに打つた、いてゆく。叩く警策が折れると新らしいのと替へてやる。二百名近い人を順打する音が天井に反響して、さえ切つてい、氣持ちである。しかし初めて、か、る警策で打たれる人は、打たれるそのことよりも、打たれる番の來るのを待つことが一つの脅威であらう。

この接得、もちろん結構であるが、これに脅威を感じた人々などの立場になつて考ふるゝ、この接得が公案として面前に迫つて來るこの接得を一座の人々はなんと解きさばくであらうか大多數の人は別段立入つてこれを解きさばかうなどとしないかも知れない。しかし筆者らはこれを現成の公案として取扱ひ、翌朝の講話の際に問題とせざるを得なかつた。

單頭和尚の接得、これを人は如何に解釋するであらうか。或る人は云ふであらう『そりや金儲けさ、人の度膽を抜くやうな事をして人氣を取るのだ、單頭和尚はあれで月給の十圓も上げて貰ふだらう』と。何かにつけて、問題を金といふ尺度で量く人は、かやうな解釋をするであらう。學校の先生が教鞭をとるのも金儲けのためであると解し、坊さんが讀經するのも金儲けのためであると解釋する人の多い現代である。單頭和尚の接得を金儲けのためと解する人のあるは、止むことを得ぬ次第である。

又或る人はいふであらう『いや金儲けのためでやない、そりやそういふ心も少しぐらひは、あるかも知れぬが、あの單頭和尚の顔つきを見ても分る、まだまだそこまで現金主義にはなつてゐない、ありや佛祖の警策であると信じ切つてやつてゐるのだ。佛や祖師に代つて、今この人々に坐禪の眞味を味はすのだ、どうかこの一打で坐禪の本當の味を味はつて下さいよ、と熱涙を振るつてやつてゐるのだ、和尚の心の中には、佛の思召しを信じて行ふと云ふ以外何ものも無い』と、

かういふ見方をする人もあるに相違ない、そう解釋する人があらば和尚が滿足するであらう。しかー乍ら、こゝに靜かに考へねばならぬことがある、先づわれらは次のことに思ひをめぐらして見ねばならぬ。

△

朝から晩まで、何んでもかでも悉くそれは、佛さまの思召しに出づるものだと信じ、どんな不仕合せが來ても、どんな災難に遇つても佛樣に深い思召しあつてのことであるからと、默つてそれを受ける、ぢいツと堪へ忍ぶ姿、而して嚴冬の寒風の中に霜凍もせず、雪傷みもせず、咲き匂ふ梅花のやうに清い姿をして現はれる、それを見ると、とてもたまらなくなつてしまふ信ずる人は強い、是非そうありたいものだと思はさるしかしこのやり方、何もかも、佛樣の思召しであるからと信じ切つて事に處してゆく、この處し方、これを釋尊が見て、あゝいゝなといつて悅ばれるかと云ふに、そうではない、何故であらうか、釋尊に尋ねるとこんなに言はれる——

△

「いや、そりやそうでない、しぐらひは、あるかも知れぬが、あの單頭和尚の額つきを見ても分る、まだまだそこまで現金主義にはなつてゐない、ありや佛祖の警策であると信じ切つてやつてゐるのだ。佛や祖師に代つて、今この人々に坐禪の眞味を味はすのだ、どうかこの一打で坐禪の本當の味を味はつて下さいよ、と熱涙を振るつてやつてゐるのだ、和尚の心の中には、佛の思召しを信じて行ふと云ふ以外何ものも無い』と、

かういふ見方をする人もあるに相違ない、そう解釋する人があらば和尚が滿足するであらう。しかー乍ら、こゝに靜かに考へねばならぬことがある、先づわれらは次のことに思ひをめぐらして見ねばならぬ。

支那中央政府を日本が承認

追つて獨伊も

來る卅日或は來月一日を以て汪精衛氏を主班とする新興支那中央政府を日本が正式に承認する筈であるが、同盟國の獨伊兩國も亦追つて可及的速に承認を與へる手筈になつて居る爲めに最初より不承認を言明して日滿支の所謂東亞新秩序確立に反對し來れる米國政府筋では昨今極度に興奮し居る由なれば其の成行こそ重大視される。

仲裁說を打消

カナリヤが米國へ

二六〇〇年で千年の喧嘩が解消す

今週話題

木材缺乏と山火事

戰時下の建築用材及び製紙、製炭用などに要する木材は、一年に一億余石の巨額を示し、そのうち約六万森林火災の頻發で、貴重な木材資源を烏有に歸せしむることを遺憾とし、農林省森林局では十月上旬全國各府縣を六ブロックに分ち林務主任會議を開催、この恐るべき山火事から森林を護る唯一の『國富山林保險』制度の普及奬励を協議する事となつた。

最近、一ケ年間の山火事被害を調べて見ると、北海道が二万三千町歩、十五万四千圓、樺太が二万四千町歩、五十万圓、その他各府縣に於いて一万四千町歩、被害總額百二十九万三千圓で、この總計は全國で六万町歩、二百万圓の驚くべき額に上つて居る。

これを原因別に見れば、放火三パーセント、火入延燒六パーセント、林内作業八パーセント、煙草吸殻十七パーセント、汽車煙突二パーセント、森林外からの延燒十パーセント、その他となつて居り、すべて一寸した不注意から起ることを示して居り、尊い森林資源を失ふと共に、治水ならびに國土保安上にも大きな影響をあたへ、所有者の精神的打撃はもとより、それによつて營林思想を委縮せしむることになる。

これが經濟的損失を防ぐ第一手段として、國營森林保險が設置せられ、毎年契約成績は二〇億町歩二十三億圓で保險者の罹災狀況は、罹災面積三百五十万町歩、損害高五百万圓で、そのうち三百万圓を保險金で塡補して居る、同局では今後これが保險の普及徹底を圖り、鐵道路の開設、登山ハイキング・コースの森林との關係を十分に考慮し、また消防の制度を整備し山火事相互防禦などを實施して、この程災害を極力防止し、國家資源愛護に全力を注ぐことになつた。

（東京發）

日本で養育のカナリヤ一羽五千羽が米國に向つて輸出の契約成立し、其内三千羽は直ちに發送される。カナリヤは從來獨逸より毎年五百万羽の程度で米國に輸出されて居たのであるが、現在其途が斷たれた爲今回日本より純日本鳥を輸入することゝなつたので之等の鳥は實に優美なる日本式唄ひ鳥で、富業者は第一回の安着と其成績の良好なりことを望んで居る。

千年の昔、喧嘩別れで祖師の遺言を無視し持ち歸つた佛像を紀元二六〇〇年の今日仲では、佛法興隆は到底出來ないと互ひに自覺し、佛像を返還して實に千年ぶりに圓滿に解決したと云ふ朗らかな話。日本佛教の發祥地、比叡山大臺宗第五世座主智證大師圓珍が比叡山々王院堂で終生佛教修業の末入寂の際、佛弟子多數をあつめて、自分の作つた像をこの寺に安置せよとの遺言をのこしたが、大師圓仁の弟子智證大師圓珍の弟子どもの間に座主職の爭奪から爭ひがおこり、長い間、いはゆる山門（延暦寺）寺門（三井寺）の鬪爭がつゞけられ、つひに智證大師の弟子は三井寺に天臺宗寺門派を開いた。

その際祖師智證大師の遺言を無視して佛像を三井寺に持ち歸へり、それを唐院に安置し、現在では國寶になつて居るが、今年はあだかも智證入師の一千五十年浦執事長等數名の代表者が、これを捧持して、山王院堂に安置、入佛法要を營んだかくて一千五十年の久しきにわたつて天臺宗内に蟠まつて居た爭ひもこゝにまつたく圓滿に解決したわけである。

（東京特報）

仲裁說を打消

ルーズベルト大統領は羅馬法皇十二世を勸誘して歐洲戰に對し仲裁役を買つて出ると噂されたが事實無根だと打消した。

カーザ東山
CASA TOZAN, LIMITADA

S. PAULO.....Rua Florencio de Abreu, 308 - 322
C. Postal 528 - Tel: 3-1141 - 44
SANTOS.....Praca Maua' 25 Cx. 911 - Tel. 2106
RIO DE JANEIRO.....Rua S. Pedro, 63
C. Postal 3342 - Tel 23-4031
LINS.....Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
C. Postal 11 - Tel: 240
MARILIA.....Rua 9 de Julho, 1277
C. Postal 74 - Tel: 460
P. PRUDENTE.....R. Tenente Nicolau Maffei 36
C. Postal 17 Tel. 300
PROMISSAO.....Rua Julio Prestes, 1057
C. Postal 16 - Tel: 50
GUARANTAN.....Est. Guarantan N. O. B.
ALVARES MACHADO.....Est. Alvares Machado E. F. S.

東山銀行
CASA BANCARIA TOZAN, LTDA.
伯貨定期預金年六分
SANTOS - S. PAULO - LINS - MARILIA - P. PRUDENTE

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆鄉里送金
御鄉里への御送金は送金人一人。受取人一人に付き毎月二コント迄許可せられます、送金特別稅五分（五%）は弊店への御送金額中より差引き申受けます。
鄉里送金爲替は爲替管理法上、特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の爲替取引相場とは關係のない別個のものであることを御承知置き御願申上げます。

◆伯貨預金
定期預金 半年以上 年三分半
特別當座預金 年二分
外に當座預金（小切手）も御預り致しますが、日本貨預金は御取扱ひ致しません。

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

學藝欄

純粹日本文學の精神

祝詞（二）

かういふ性質は、多かれ少かれ上代の古典には共通してゐるが、特に此の点の特色を明瞭ならしめてゐるのは、祝詞とその一類の文章である。

祝詞の本質が、神祭りの意義を有する点にあることは云ふまでもない。その意味において、祝詞か宗教的性質を根本としてゐることも亦否定出來ない。併しこれらの祝詞は、その神祭りに、國家統治の重大意義をも含ませてゐるところに、看過すべからざる政治的性質を具へて來る。

△

祝詞の祈願の目的は何であるか『皇御孫の命の御代を手長の御代と、堅磐に常磐に齋ひ奉り、茂御代に幸はへ奉る』こと（祈年祭）であり、『今も去前も　天皇が朝廷を平らけく安らけく、足御代の茂御代に齋ひ奉り、常磐に堅磐に福へ奉り、預りて仕へ奉る處處家家王等朝等を、平らけく天皇が朝廷に、いかし彌木賜へ』といふこと（春日祭）であるのが、最も多く見られるものであつて　天皇の御代長久を祈り奉り、或は朝廷の平安と臣下の繁榮とを祈るといふ事が主眼となつてゐるが、政治の究極の目的は、此の点に歸着することを考へれば、祝詞の祈願の意義が政治と同一目的を有するところに存することを知るであらう。

△

此の點は、更に六月晦大祓の祝詞において見られる罪の意義を考へる時一層明かとなる。此の祝詞と共に禊祓が行はれて、半年ごと文武百官の罪過が祓ひ淨められ同時に、すべての國民も亦清淨の身心をもつて、新しい人生に出發するわけである。かくて、罪過の種々の名目を列記して天つ罪國つ罪に大別してゐるが、しかもこれらの罪過には、道德的犯罪の性質のものも數々あげられてゐるのであつて、殺人傷害罪、姦淫罪のごときものも認められる更に進んで、病氣や、今日天災と考へられてゐる災害などまでも、やはり人間の罪過の結果と解してゐたやうだが、これらを通して、そこには一種の律法的性質を帶びて來てゐる。

たゞ上代においては、後世に見られるごとき刑罪を科する代りに、身心の甦生をはかる方法を考へた。

○

新しい精神をもつて清い生活に出發する方法を與へるところに、古代の政治の根本的意義があり、そこに宗教との合一が認められる時もう一度、政治の必要を敎へられるのである。

刑罪は、外部より加へる鞭に過ぎないさういふ物質的なものではいつまでも犯罪の根を絶つことは出來ない。刑罪ではなく禊祓の精神的効果に敬虔なる信仰の情をよせてゐた古代人の純潔なる魂に觸れる時もう一度、政治の必要を敎へられるのである。

それとゝもに、國家の安泰長久を希る積極面を裏返して、人間が非過を犯すにいたる自然の本能の働きをあへて否定せずに、その淨化の方法を講じる點には、政治の積極面も亦認められるのであつて、此の兩面の構成する祝詞の政治的意義は、それが神祭りの本質に連なるものであるだけに一層祭敎一致の根本義を明確に示すものと云はなければならない。

金に委せて軍擴に狂奔するが果して參戰する氣か

米國が却々參戰せざる根本理由は如何　軍備は量よりも質の問題

日獨伊三國同盟の目的が英米兩國を敵として戰ふことではなく、寧ろ反對に樞軸の威力を發揮することに依つて、今や事實上の參戰に乘り出して居る米國を戰爭から手を引かせ、戰はずして米國をしてその敵性を放棄せしむることにあるは勿論である。

今日日本が當面する對外關係にて、打開調整の最も困難なものは米國との關係であらう。殊に最近の事態は平和的には最悪の狀態に入つたと見ることが出來、それは事變發生以來漸次熾烈を極めて來た米國の對日壓迫が遂に最高潮に達したことを感ぜしめた。そして今後益々緊密化を增すであらう英米聯合の當然の結果として發生したシンガポール軍港使用問題を中心とする英米共同動作は、日米關係の逼迫を物語る以外の何物でもなかつた。一方佛印に於ける蟬かしき協定の成立はこれに拍車を懸けた觀があり、日獨伊三國同盟の突如たる締結の斯る關係に置かれた米國に與へた影響の大なることは想像に難くない。この問題は勿論米國官邊の語るところによれば豫期せぬものではなかつたとのことであるが何れにしても、それは日本の立場を最も判然と示したと同時に米國の切迫した對日態度をも決定せしめることを要求して居り、今や、三國同盟に對する米國の出方は世界注視の的となつてゐる。

併し其後傳ふるところに依れば三國同盟締結に關する米國の一般輿論は先づ太平洋戰爭を回避すべしとの傾向が强いとのことであるたゞ先般シンガポール使用を高唱して對日挑戰暴論を熱心に說いたヤーネル少將等の一部反日論者は『戰爭の危險を冒しても日輸出入禁止令を斷行せよ』との要求を提起した爲めに不安な空氣を醸成したとのことであり、これに對し米國政府内ではハル國務長官とスチムソン陸軍長官が贊成を表し、米海軍首腦部は反對の態度を示し、對日方策に入ては米大統領にして冷靜な判斷を失はない限り米國の一般輿論を裏切つてまで對日强硬態度をとり得るとは思はないし、若しそれを敢て行ふならそれはルーズベルト大統領自身をも滅ぼすものである。

米國が參戰或は新らたなる戰爭を起し得ない根本問題としては是等軍隊の質の外に國内的に同國が日本は勿論のこと歐洲諸國の何れの國よりも、もつと遙に國内組織に於て戰時體制に入つてゐないことが先づ第一に擧げられる。成程歐洲戰爭の進展と、もに、殊に佛國の降伏、英國の敗退以來米國の戰時體制への突入傾向は顯著となつて來たがそれは未だ準備に過ぎず、政治、經濟、產業ともに高度資本主義的機構は何等變化を加へられたとは見えず、失業者は未だに五百萬を數へる有樣である。斯樣な米國が世界の新事態を未だに覺らずして自國の經濟的富と地理的地位を利用して悦喝と虛勢をもつて世界の新秩序に對して妨害を加へむとするならば誤りも甚だしいと言はねばならない。

米國の援英行爲は歷史的

西方に於ては米國はドイツの敗退する事を望んでゐる。若し又イタリアとロシアも加ふるなら各々敗退する事を望む。米國は歐洲に於ける單一の完全なる覇權を望まない。米國は英國の敗滅を望まない、それは他の國家によつて英國が流用されることは米國を脅かすことになるからである。英國の帝國主義に對して如何樣な道義的判斷が下されやうとも。米國は英國とならば恐怖もなく苦惱もなく共存する事ができる。兩國は百二十五年間共存して來たのである。ドイツ或は日本、或はロシアの後繼者、又は英國敗退の戰利品によつて勢力を擴大した日本、或はドイツ或はロシアは尠くとも米國の安全を脅かすであらう。米國の太平洋上の地位と更に南米との近接を考へれば米國は攻防兩樣の巨大な軍事施設を整へねばならぬ。（エイシヤ誌所載ナサニエルペツファーの所論より）

過去百二十五年間英米は共存す

日米關係に就いて伊國のボボロ・デ・ローマ紙は太平洋戰爭に關して興味ある所論を揭げてゐる。

『將來日米關係が如何なる發展を見るかは俄に豫測し難いが、日本の海空軍はたとへソ聯との間に完全な諒解がなくとも凡ゆる場合に米國の太平洋に於ける決定的行動を不可能ならしめる程度には十分强大であるといはねばならぬ、斯て將來米國は益々太平洋に釘付けにされること、ならうが、他方英國海軍は本土が獨逸に攻略された場合を考へると米國海軍に合流する以外に途なくしかもかくの如きこは英國海軍の最後的自滅行動とならう』

これは、今日の日米海軍勢力の關係をまことに冷靜に、且つ正確に論破したものと言ふべきで、如上の如く米國海軍部内の一部對日强硬論者の言說が如何に根據無き暴論であり悔喝たるかを證言するものである。いかに

未だ準備時代

對日强硬論者有りと雖も輿論は戰を欲せず

今日、米國が戰爭を欲し逸したのだといふが、それは非常疑問と言はなければならない。例へば海軍兵員の士氣の問題は、それが對日問題、太平洋問題よりも米國にとつてもつと直接的である歐洲戰爭に對してさへ經濟的政治的干涉を——例へば對英援助に於て——非常に積極的に行ひながら米國自身の軍隊による軍事的行動を行つてゐないことにも分明するではないだらうか。北佛に於ける戰爭へ米國が軍事的行動を起さなかつたのは、それが余りに短期間に英佛聯合軍の敗北となつた爲め、その機會を捉へて大の理由で米國が參戰の機會を次々と回避して來た理由を說明し得るであらうか。國内及び政府内に有力な强硬論者があるとしても國民一般の輿論が戰爭を欲しない、戰爭に傾かない爲めに外ならない。

米國最近の軍備擴大にしても、成程物資的整備は或は彩大な物資を擁する米國としては十分であるかも分らないが、その主體たる軍隊がそれに比較し得る訓練と戰鬪精神を有するか否かは非常疑問と言はなければならない。例へば海軍兵員のサボタージュとか兵役の職業意識、徵募兵の軍人としての意識などは日本などのそれと大に異るものがあるのではないか。從つて、量に於いて堂々たるも質に於いて果してそれだけの價値を發揮し得るか。そこに米國が戰爭を欲しない端的な理由が確に横たはつてゐる。あの整備に於て缺くところ無しと言はれる大艦隊が玩具艦隊と言はれる所以である。

ルーズベルト大統領が反日的感情の持主であらうとも今日の米國がこれ等對日强硬論者の言ふが如き太平洋に事を構へるの不利を覺らぬ筈はないし、今日の米國の戰略的不利及び國民の戰爭への心構への不備等より米國が、軍事行動に出ることの困難は余りに明らかである。

難局を切りぬけて世に出た人物

（一）

ビスマークは之に答へて言つた『ドイツの統一は議論や多數決の力で實現されるものではない。それは鐵と血の力によつて實現されるのだ』と。かくして國王はビスマークに政治を託し再び議會を解散して、國民の再考を求めた。それでもやはり反對黨が更に多數を占めたので、議會の決議を於て國王が退位するといふ

いにオーストリアに勝ち、フランスに勝ち、鰲逸統一の事業に成功したのである

△

即ち凡有偉人が社會にその實力を示すべく登場する時には、必ず國家の難局がある。ビスマークは、もし、フランス革命に於て、議會が虐殺されるといふ難局がなかつたならば、又、プロシヤの國家に於て國王が退位するといふやうな難局がなかつたならば、奈翁は練兵場の一將官で終つたらうし、ビスマークはフランデンブルクの別莊に於てブルドツグと一緒に狩をしながら一生を終つたらう。英雄を呼び起すものは要するに國家の難局である。

元來、日本に英雄を產んだ三つの地方がある。一つは、尾張、三河の中部地方であつて、そこから出た英雄は、平原的、都會的であり、即ち人心收攬術に長じて居る豐臣秀吉の人心收攬術や、德川家康の群臣統御術はそれである。三形ケ原の戰に於いて、小勢の德川軍は大勢の武田軍に破られ岡崎城に逃げかへつた。その戰場に遺棄した死體を調べてみると、德川方は敗れては居り乍ら、その受けた傷がみな向ひ傷で、それほど德川軍は勇敢であり忠烈の氣に充ちてゐた。家康が如何に巧みに群臣を統御してゐたかゞ明かである。

△

第二は九州一帶である。此の地地方の生み出した英雄は、九州そのものが火山であつた如く、みな火山的の性質をもつて居る。即ちその闘爭力が極めて猛烈であつて、勝つても負けても必ず死ぬ迄戰ふといふ負けぬ氣に充ちて居る。西鄕隆盛を見よ、大隈重信を見よ。西鄕は維新の大業を成就し功成り名遂げた、然るに拘らず征韓論でその言が容れられないと、三萬の子弟と共に戰ひ、竟ひに城山に殞れた。大隈に至つては、佐賀の葉隱れ武士の精神を享けて『大難大變に遭遇しても、毫も動轉せぬといふ占めたので、議會の決議を無視して軍備を擴張し、つ

ざるは勿論、却つて歡喜雀躍して勇み進むべきなり』といふ精神を體して八十五歲に至る迄、單身孤城を守つて戰ひ抜いた。

第三は防長地方であつて此の地方に生み出した英雄は馬關の形勝の如く、急流奔放的、斷崖絶壁的であつて、極めて敏感の氣性に富んで居る。毛利元就を見よ高杉晋作を見よ。元就が巖島に立籠つた陶晴賢の二萬の軍隊に對し暴風雨の夜、千にも充たざる小勢を以つて夜襲を試み、之を混亂に陷れて、遂にその首をあげた。高杉に至つては、騎兵隊長として馬關の守備に任じ、百にも足りない手兵を以て裸體のまゝ小倉城に斬り込み、敵は大兵後より至るとなして城を燒いて退いた。此の退り口は木戸光允を見ても、井上聞多を見ても、伊藤俊輔を見ても、みな共通的行動を行つてゐないことにも分明するではないだらうか。北佛に於ける戰爭へ米國が軍事的行動を起さなかつたのは、それが余りに短期間に英佛聯合軍の敗北となつた爲め、その機會を捉へて大の理由で米國が參戰の機會を次々と回避して來た理由を說明し得るであらうか。國内及び政府内に有力な强硬論者があるとしても國民一般の輿論が戰爭を欲しない、戰爭に傾かない爲めに外ならない。

米國最近の軍備擴大にしても、成程物資的整備は或は彩大な物資を擁する米國としては十分であるかも分らないが、その主體たる軍隊がそれに比較し得る訓練と戰鬪精神を有するか否かは非常疑問と言はなければならない。例へば海軍兵員のサボタージュとか兵役の職業意識、徵募兵の軍人としての意識などは日本などのそれと大に異るものがあるのではないか。從つて、量に於いて堂々たるも質に於いて果してそれだけの價値を發揮し得るか。そこに米國が戰爭を欲しない端的な理由が確に横たはつてゐる。あの整備に於て缺くところ無しと言はれる大艦隊が玩具艦隊と言はれる所以である。

臨機對處し得る日本の覺悟

前進あるのみ

斯樣な國内情勢と軍備の弱点を持つ米國が今日直ちに行動を起すことは考へ難いところであるが、日本としてはヤーネル少將、ハル國務長官、スチムソン長官ピツトマン議員等によつて代表される對日强硬論者の意見も同時に、米國の或意志を表示するものと見做して、最悪の事態に備へて、何時でもこれを撃攘し得る準備と覺悟をもつて對處せねばならず、若し米國にして大東亞共榮圏の確立、東亞新秩序建設の大業を阻むべき積極的行動に出るならばこれを拭拂して前進するの用意なければなるまい。

聖州農界に於ては小中農が飛躍

大農園漸次衰微

最近聖州經濟界の趨勢は小農業者及び中農業者の增加である。此の反面に於て中工業者の膨脹は著しき數字を示して居る。種々の原因に依り大農園は漸次衰微の途をたどりつゝある此れに反比例して中工業は急激に躍進してゐる。一九三七年三八年度の統計に依れば二拾二萬五千九百六拾の土地所有者は次の如くであつた

二拾五アルケール迄　一九〇・七九〇
二拾五ー百アルケール迄　三四・五〇五
百ー五百アルケール迄　九・二一二
五百アルケール以上　一・四五三

使用されて居た土地は二拾五アルケール迄　八〇・八五
二拾五ー百アルケール迄　一四・六三
百ー五百アルケール迄　三・九一
五百アルケール以上　〇・六一

廣大な土地を有する伯國に於て大地主の減少は余り香ばしき現象ではないか一九一四ー一八年の大戰後政府の方針として、自給自足の可能なる小農業者即ち小土地所有者の奬勵と同時に農業デモクラシーを普及する政策が實行されて居る。斯る意味に於て聖州農業界は必しも悲觀すべきで無く寧ろ全面的には飛躍して居るのである。

（7）アマゾニア產業株式會社

而して財團法人の組織に當りては、鄕誠助之男爵專科する代りに、身心の甦生をはかる方法を考へた。

○

新しい精神をもつて清い生活に出發する方法を與へ

るものがあつた。設立當時より今日に至る財團の役員左の如し。

理事長　上塚　司
理事　田崎　愼吾
理事　中島清一郎
理事　千葉　三郎
理事　山西源三郎
監事　辰野保（死亡）
監事　辻　小太郎

△

而して右に謂ふ最後的調査とは昭和九年以來本研究員が調査し研究して將來アマゾンの主要產業として最も有望と認めたるジユータを主要作物とする模範植民地を建設し此處に給付場事務所、倉庫、精米所、製材所、發電所、小學校病院賣店等の施設を行ひ高拓卒業生を中心とし、之に小數の一般家族入植者を配して新社會を構成し以て集團入植に關する總ての研究を行ふ外主產物たるジユータの生產より販賣に至るまでの實際調査を行なはんとするにある、而して三ケ年にして本調査を終了していよいよ大衆植民に對する確信を得たならば、直に政府援助の下にアマゾニア產業株式會社を設立せんと期したのである。之より遡き昭和七年十二月七日在伯研究所副所長にして本事業と最も關係深き栗津金六は家庭上の都合にて南伯に轉ずるの已むなきに至りしを以て新に在伯研究所に主事を置く事と東京本部主事辻小太郎を之に任じ、同主事は昭和八年二月三日神戸出帆のサントス丸にて家族同伴赴任した。辻主事は四月廿日現地着後越知、高橋主任其他所員と共に東京本部指令の昭和八年度以降事業計畫に基き模範植民地を建設する事に決定した。

△

而して摸範植民地建設の經過及結果に就ては別項事業慨要植民部事業の項に於て詳述せるを以て玆には之を省略するが、要するに政府も東京本部も此の建設に對しては多大の期待を持ち巨額の資金を投下し、又ジユータ栽培指導者として日本高等拓植學校講師木野邊作を現產地印度に送り詳に栽培收穫の狀況を觀察研究せしめて模範植民地に送る等種々の方策を講じたるにも拘らず、栽培成績は甚だ不良にして且アンヂラは地積狹くして僅に一年の開拓にて既に次年度の開拓に不都合を來す等幾多の齟齬相次で起り、昭和九年度に於ては、アンヂラと地續きのウアイクラッバ河畔に進出し、道路中心主義を以て高臺地農業に轉ずるの已む無きに至り、玆にタウワケイラ、サンタルジア、ポアフオンチの植民地建設となり其後ポアフオンチ植民地の追設を見、既報のアンヂラ及ポアエスペランサ植民地と合せて以上六植民地を打て一丸となし模範植民地と稱し各植民地を區となし區制を敷き、植民地事務所、公會堂、小學校、病院、精米所等も新植民地の中心部サンタルジアに新設し主產物としてゴム、カスタニアを植へ副作物として米、マンヂオカ、玉蜀黍、煙草等を栽培した。

RASPA DE MANDIOCA
"ODEVEZA", rua D. José de Barros, 337
3.° and. s/314. S. Paulo
◉マンヂオカ
マンヂオカのラスパ及びアシヂを賣り度い人は當方へお申込下さい

LOJA DA CHINA
LOUREIRO, COSTA & CIA.
CAIXA POSTAL, 676　SÃO PAULO
新種子物　發芽保証
アルフアハ・プロベンセ、カピン・カチンゲイロ、カベロデネグロ　ジヤラグアー
（12-6）

料亭　青柳
聖市タバチンゲーラ五六
電話　二一一九四八

社告
野崎彌太郎
右弊社々員ノロエステ線の愛讀者各位を訪問致させ候間何卒宣敷く御配慮下され度く御願申上候
十一月十二日
南米新報社

聖市グロリヤ街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
Rua da Gloria 352
S.Paulo
（Largo do S.Paulo）

病淋
如何なる淋病も五日で完全治癒
北米式ケタリング法
（洗滌注射を用ひず）
廉價
（OIK）
DR. H. FENICIO
Av. S. João 536-6 and
Tel. 4-1188

●外科　●眼科　●內科
●耳鼻咽喉科　●產婦人科　●小兒科
診療時間　自午前九時　至午後五時
電話二六九番
笹田醫院
ドトール　笹田維數
マリ、ア市　カンポス　サーレス街　二五七

▽……アラサツーバへお出の節は是非當館へ
▽……秀峯富士の名に背かず形も氣持ちも瀟洒恬淡たる當館へ
富士旅館
白石纖江
アラサツーバ市プルデンテ・モラエス街九二

本年十數女個別に新しい極上品を召しませ
SUMIDA Chá PRETO
レヂストロ
隅田茶園
郵函四二
品質を誇る紅茶、綠茶
特用包　鑵入
美しい安いセロハン包裝
番茶のシーズンが參りました

精米珈琲精撰農產物買及委託販賣
瀨ノ上商會
本店　ノロエステ線　グアララペス
郵函五〇番
電話一二番
精米場　ノロ線　グワラサイ町

岐阜縣人に告ぐ
在伯岐阜縣人は他縣の人に比し割合に少だと數言はれて居ます。從つて同鄕の友誼を結ぶ機會に惠まれて居ません。それだけ一層我が鄕土に對する懷舊の情と共に、特に萬里の異境に生活を同じうする同鄕者になつかし味を覺えるものであります、斯樣な簡單な意味から、聖市に在住する若干の同縣人が話合つて『ではこの二千六百年を記念して、お互が名乘り合ひ一堂に會して、お茶でもすゝり乍ら、故鄕の昔話でもして見やうじやないか』と。唯だ是れだけの意で出來れば來年の一月頃、聖市に集つて見たいと思ひます、もちろん縣人會とか何んとか云ふシチ面倒臭いものでは無く謂はゞ同鄕者の親睦會と云ふわけです、お顏を出して戴けるなら愉快此上もありません。
御都合は聖市南米新報社（郵函一二四三番）內岐阜縣人親睦會開催有志宛成るべく十二月十五、六日までに御一報願ます
二千六百年十一月十日
聖市岐阜縣人有志

胞同留在ロンドン

談驗體の人々は受けた禮洗の襲空

——(PAGINA DE NOTICIAS DIVERSAS)——

左は英京倫敦に於て物凄き獨空襲の洗禮を受けてゐる人々の体驗談で、如何に苦心決意して電擊下の生活に耐へつゝあるかをわれ等の眼前に髣髴せしむるもので同じ在外者として心ひかるるも、一發がジョン・ルイス百貨店に落ちてひどい火事になると見て居るうちにもう一發が頭の上にヒューとうなつて來たてつきり自分のところに來るとおもつたが、二發とも大理石のアーチに落ちた、百貨店の屋上に落ちたのは、物凄い火柱となりまるで自分の前に飛んで來るやうであつた、てつきり油性爆彈だと思つて居るが、實に素晴らしい壯觀であつた、はつきり印象をつかんだので今火事のと一緒に三枚ばかり畫いて居る

英國は勞働者がのさばつて居るので、元通りになるのはむづかしいやうだ、第一に防空壕が足りないとか、地下鐵に眠るのはいかんとか攻擊して居るが、ミュンヘン會議の後でチェンバレン前首相が、防空壕を作らうと云つたのに反對したのは勞働黨であつた、軍縮を支持して今になつて戰爭準備が出來てないと非難するのだからをかしい

アメリカばかり頼みにして、外かの國がどういつて居るか始終氣にして居り、支那事變でも自分の意見を云はずに外國ばかりを頼りにして居るやうでは英國もおち目になつたものだ。

●畫家牧野義雄氏談

滯英四十年の牧野畫伯は重光大使の庇護をうけ、官邸の一室に畫室を設け空襲下のロンドンを描かうとがんばつて居る、畫伯は前大戰と比較しながら語る

こんどのロンドン爆擊とくらべると、この前の大戰の爆擊は、まるで子供の惡戯だつた、今度の爆擊の初めの日は、田舎に居て火災を遠くから見たゞけだが、九月十八日の最もひどい日には畫室からよく眺められたなんとかして空襲下のロンドンを描かうとおもつて居夫人は、大使館員引き揚げ後も居のこつて、夫君の後楯になり危險を冒して一切の切り盛りをして居るが、警報中自宅で語る。

女で居残つて居るのは、郵船の出野卓郎氏夫人の外か數人で、異國人と結婚した人々も元氣ですが最近集會はやめにしてお互に電話で見舞ひ合つて居ります、今まで階上に寢て居ましたが、現在ではみんな一階に起臥し、いつでも避難が出來るやうに万一の場合に備へて身仕度を整へ、重要書類荷物まで傍らにおいて寢て居ます。

夜になるのは厭なもので、爆發の響きや近くに聞へる砲擊の音、就寢中にも聞へる戰闘機の爆音、ことに夜のうちに遲發爆彈でも近くに落ちて居たらとおもふ氣味惡しさは誰しも變りはありませんが、この間近所に爆彈が落下した慘害のあと

萬一の場合を期し荷物を整へて

▽……内山總領事夫人の談

を見てからは直擊戰をまともに受けたら、詮方がないと一種の諦めが出來ました子供たちが最後まで居殘つて頑張るやうに言つて來ましたので、安んじて責任を果たそうと思ひます、火の手は總事領館の隣まで延びて來ましたので、毎晩電話をかけて電話通じれば、まだ大丈夫だと安否を確めて居ます大使館事務所の一部を移したので、いよ〳〵忙しくなりました。書間も警報が度々鳴りますのでその合間々々に買物をするやう警報解除後すぐ一走りにて濟ませて居ます婦人用品專門店のジョン・ルイス百貨店が燒失したので、婦人たちは買ひだめをしておけばよかつたと云つて居ますが、買ひだめをしても、自分等のところが燒けてしまへばどうにもなりません、最後まで用心に用心を重ねて日本女性として見苦しくないやう

西園寺公薨去

【東京廿四、廿五日ラヂオ】今月初旬より腎臟病にて就床以來主治醫勝沼博士等の周到なる看護と嗣子八郎氏等近親の平癒祈願も遂に空しく西園寺公望公は二十四日午后九時四十五分九十二歳の高齢を以て薨去す

天皇陛下に於かせられては西園寺公生前の動功を嘉せられ、廿四日附左の如く從一位宣下あらせられ、同時に畏くも政府の國葬送營の件を御裁可あらせられた

故正二位大勳位　西園寺公望

叙從一位

特旨を以て位一級を進めらる

西園寺公の略歷

故西園寺公望公は嘉永二年十月、德大寺公純の次男として生れ、西園寺師季卿の養子となつた明治元年戊辰の役には十九歳にして山陽道を鎮撫總督となり次いで第三等陸軍大參謀として會津に出征、明治三年フランスに留學、在佛十年新知識を得て同十三年歸朝、東洋自由新聞を發行、十七年公爵を授けられた、特命全權公使としてオーストリア、ドイツ兩國に駐劄、歸朝後賞勳局總裁、二十七年樞密顧問官、文部大臣二十八年外務大臣、三十一年文部大臣、三十三年樞密院議長、三十四年再び入閣、總理大臣臨時代理仰せ付けられ、大藏大臣を臨時兼任、その後、伊藤博文公を助け、立憲政友會を興し、伊藤公の後を承けて總裁に擧げられ、明治三十九年內閣を組織、外務文部兩大臣を兼任して戰後經營の大任に當つた、四十四年再び內閣を組織大正七年大勳位に叙し、菊花大綬章を授けられ八年政界を引退し元老として今日に至る。

元老制も終焉

西園寺公の薨去に依つて『元老制』の今後がどうなるかは政治的に大きな問題であるが、生前同公一代を以つて元老制の終焉を希望して居り又同公の元老制に望んだ所は政權の授受が最も圓滑に行はれる典型的立憲政治の運用にあり、政局の變動が宮中に些かたりとも波及する事を極度に危懼した點にあつた、而して實際問題として維新の元勳にして現在生存する者は現在すでに一人も無いので、元老制は故公の希望した如く西園寺の薨去を以てこゝに名實共に終りを告げる事となつた

一週間以內に國葬

元老西園寺公薨去の報に政府は二十五日の閣議に於て國葬令に依る勅書奏請の件を附議決定の上近衛首相宮中に參內委曲奏上後御裁可を仰ぐこと、なつた　尙國葬の日取り式場等に就ては大體左の如く內定した

一、葬儀の日取り、大體一週間以內に執行

一、式場東京日比谷公園

一、豫算東郷元帥の先例に倣ひ第二より支出

爆擊の猛烈さ

前大戰の比に非ず

郵船の金鞍一榮氏は語る

私はこの前の大戰當時はほとんど初めから終りまでロンドンで戰爭を體驗しましたが、こんどの爆擊の猛烈なことはお話にならず、前大戰では、最初にツエペリンが來て後から飛行機が來ましたが機數は多くて三十機ぐらひ、空襲の時間も二時間か三時間が最大限で、爆彈も至つて小さく私等はいつも下宿屋で留守番を引き受て平氣なものでエンバンクメントに爆彈が一つ落ちたと云つて大騒ぎをするほどで

ウエスト・エンド一帶ところ嫌はず叩きつぶしてしまふ今度の慘害とくらべれば雲泥の相違です、それにも拘らず、日本人一同が、一人も死傷者なく、物質的の損害もいたつて輕微で、たとへ私共のドック施設なども猛爆擊を蒙つたまん中にあるに拘はらず、完全に無事で居るのは幸な事です

今後の方針としては、お互に氣をつけ合つて、危險防止に万全策を施すのは勿論、近き機會に日本人銀行、商社とも最少限度に人數を減らして外人の使用なども整理をして行くやうにしたいとおもひます

日本人會としても、この際邦人の安全のために何等か適當の方法をとりたいと思つて居ます

鮮銀長野廣氏談

上海で砲火を浴びること三度び、よく〳〵爆彈に緣のある私です、上海では自分の國が戰つてゐるので、まかり間違へば銃を取つて起ちたい氣持ちで一ぱいでしたから恐怖など全然ありませんでしたが、こゝでは盟邦の運命が賭けられてゐるとは云ふもの、他人の國の戰爭であるだけに少なからぬ恐怖を感じます

上海では支那軍の盲彈でカセイ・ホテルと大世界へ爆彈が落ちたが、たつた二つの爆彈で、あれだけの騒動をおこしたが、こゝでは、あんなのが一晩に何百と落ちるのだから堪つたものではありません。

向後の珈琲栽培

利有が場塲小農も園農より大

聖州珈琲農事協會々長カイオ・レモンエス氏は伯國珈琲農業に就て往訪の記者へ次の如く語つた。

珈琲園を作る土地は少くとも林相はバウダーリオ、フイゲーラウルチゴン等の繁茂する山で、海拔は五百米以上、東方に面した傾斜地、南風の當らない地帶、交通上から見ても鉄道より二十粁以內の地を理想とする。そして氣温の高い所ならばスマトラ種、地力の弱い地にはブルボン種を栽培するのが至極相應しい。聖州の珈琲好適地は六百ミ內外で賣買されてゐるが肥沃地ならば二十バルマスの間隔で栽えて所謂ファゼンダとならば十萬本の珈琲に對して二十家族用のコロノ住宅、支配人用住宅、カマラーダの住宅等が必要である。植付後三年にして第一回の收穫が得られるが、それまでは珈琲一本につき一ミルの手當が必要である。之れらの經費を列擧すれば大凡そ次の如くである。

コロノ住宅六十コントス

支配人住宅六コントス乃至八コントス

四ケ年の費用

一〇〇コントス

三年目から四年目にかけて千本につき二十五俵の珈琲が出るとせば合計二千五百俵になり、それを一俵二十ミルで賣却すれば五十コントスを得る勘定になるが、四年後には猶珈琲マキナ、住宅等を建てる爲めに七十五コントス位を要し、バスト、マンダロン等を含すれば其額四百五十コントスに達する。斯くてファゼンダは二十年間に千本につき百アローバの珈琲を生產して一俵九十ミルで賣らねば儲けがないわけで有るから、寧ろ小農業の方が割が好いと云ふ結果になる。然し小農園では珈琲耕地に間作を行ふので、千本に百アローバはむづかしい、又品質に於ても大農園よりも劣る故市場は常に品質に注意して小農者を指導するやうにしなければならぬが、兎に角今後の珈琲栽培は大農組織よりも小農塲の方が有利なやうに思はれる。

ミーリヨ禮讃

國民は是れを主食物化せよ

年產は二百萬噸

マツキンジー大學々長ハニクツト

或る日街の一青年が田舎に行きカボクロの家で朝食を喫した。卓上にあるミーリヨの煮たのを見た青年は驚いて一體僕がこんな物を食ふと思つて居るのか、と呶鳴つた、主人は落着いて、でもミーリヨの生の方はもう有りませんのでどうも御生憎様、と答へた。此の話は有名で伯國でミーリヨを下等視して居る事を如實に物語つてゐる。現在では珈琲や棉花に最大の關心を持たれてゐるが伯國の到る所にミーリヨの影を見ざる處無き程重要性を有してゐる

○……○

毎年伯國は百萬コントスに上る麥を輸入してゐるのである。云ふ迄も無くパン製造に使用されるのであつてこれをミーリヨ、白米等で補ふ事は不可能では無い。歐洲大戰當時リオに於てミーリヨパンの使用が强制された。戰後麥パンの使用が許可されリオの有名な食堂では直ちに麥パンに改めた其の理由を質問したところ主人はミーリヨのパンは客が澤山食べるからと答へた北の答へはミーリヨパンが作り方に依つては麥パン以上である事を物語つてゐる

○……○

現在伯國のミーリヨ生產高は年二百萬噸と推定されて居る、其の內約六割は家畜に使用され後の四割が人間の食料品となつてゐる。パンの外にカンジツカー、マイゼーナ等種々使用法はあるが、次に保健食物アングの製造配合法を未知の日本人諸氏に傳授して置かう。

シーカラに半分

シーカラに一杯

茶匙に二杯

全　二匙

全　一匙

全　一匙

全　一

Redação e Administração
R. Pires da Motta, 838
C. P. 1243 Tel: 7-1614

NAMBEI SHIMPO

(SEMANARIO SUL AMERICANO) PAGINA BRASILEIRA

Diretor: J. V. França
Proprietaria:
Isaura Murai

FUNDADO EM 1928 | S. PAULO —QUINTA-FEIRA 28 DE NOVEMBRO DE 1940 | SEMANARIO, No. B-314

A LAVOURA CAFEEIRA DO FUTURO

Custo de formação da uma fazenda de café - Necessidade de amparo ao que existe já organizado - Interessante demonstração feita pelo sr. Caio Simões, presidente da Associação de Lavradores de Café

A situação em que vae ficando a agricultura cafeeira em S. Paulo tem preocupado os lideres da classe em torno do rumo que tomará a lavoura de café em futuro proximo. Nesse sentido, o presidente da Associação de Lavradores de Café, sr. Caio Simões, expôz para o Diario de S. Paulo, alguns elementos para se poder avaliar quanto custa a formação de uma fazenda de café.

A QUALIDADE DA TERRA

Iniciando a sua exposição, disse-nos aquele lavrador:

-"Para se adquirir terra apropriada ao plantio do café torna-se necessario, primeiramente, que a terra seja de primeira ordem, ou de segunda ordem, em alguns casos. dentro do nosso Estado. A terra considerada de primeira é aquela cujos padrões demonstrem ser apropriada para a cultura do café; taes são: o pau d'aulho, a figueira branca, o jaborandy pintado, o urtigão e outros.

A de segunda qualidade é aquela em que raramente se encontram esses padrões.

Além disso é necessario, ainda o seguinte: altitude de 500 metros para mais:- verificação ou escolha da face, nascente ou poente, isenta de vento sul;- terreno de preferencia plana ou de pequena inclinação;- distancia nunca superior a 30 kilometros da estrada de ferro, para evitar o encarecimento da condução;- escolha da semente, que deve ser de preferencia o café "bourbon", em zona de terras fracas e muito quentes, deve ser plantado o "sumatra".

PREÇO DA TERRA E CUSTO DE FORMAÇÃO

"Em S. Paulo adquirira-se a terra apropriada á cultura cafeeira, ao preço médio de 600$000 o alqueire. Para se fazer um calculo mais ou menos exato do preço em que fica um pé de café formado, passamos a computar, de inicio, o valor do terreno, naquela base de .... 600$000 o alqueire. Segue-se a derrubada, a 300$000, e a coveação e plantação tambem em 300$000 por mil pés. Descoivarado o terreno é feito o alinhamento, planta-se o cafezal, de preferencia em quadra. Em terra de primeira ordem, mantem-se a distancia de 20 a 22 palmos entre as plantas".

CONSTRUÇÕES DE CASAS

"Plantado o café, deve-se cuidar da construção das casas necessarias aos trabalhadores que vão cuidar da lavoura.

Numa propriedade de 100 alqueires, com 100 mil pés de café, são necessarios 15 grupos de casa para 20 familias, e mais 2 grupos para camaradas e carroceiros, além da casa para o administrador".

A PRIMEIRA COLHEITA

"Sómente depois do terceiro ano é que o fazendeiro poderá esperar a primeira colheita, chamada "catação". Assim, o custo durante esse espaço de tempo importará em mais ou menos 1$000 por pé, ou sejam 250$000 por ano, de contrato".

O CAPITAL EMPATADO

"Os 15 grupos de casas importam em 60:000$000; as duas casas de empregados e a do administrador, respectivamente em 8 e 6 contos; custeio durante 4 anos: 100 contos;- uma tulha de tabuas: 10 contos;- terreiro: 15 contos;- 20 alqueires de pastos fechados: 20 contos; mangueirão com porcos, paiol e duas carroças com 10 burros, respectivamente 6, 3, 10 contos. A produção do terceiro para o quarto ano póde ser calculada em 25 sacos por mil pés ou 2,500 sacos, que vendido a 20$000, dão 100 contos. Conte-se: juros do Capital durante 4 anos a 8%, serviço de extinção de formiga, abertura de carreadoros, caminhos para condução da fazenda á estrada pública:- ordenado do administrador 4:800$000 por ano. carroceiros quasi ficará absorvido aquela renda da primeira colheita.

No fim de 4 anos, quando a lavoura estiver mais ou menos formada, estará representando um custo de 346 contos, ou sejam 3.460 reis por pé. Ponha-se ainda machina de beneficiar, e a casa para o fazendeiro, na importancia de 72 contos, fóra estabulo, cocheira, animais de sela,- e orçará tudo em cerca de 420 contos, ou 4$500 por pé".

O LUCRO PROVAVEL

"Para que essa fazenda pudesse dar a justa recompensa ao produtor, seria necessario que durante o periodo de 20 anos essa fazenda viesse a dar média de 100 arrobas por mil pés, e fosse o café vendido, durante esse periodo a 90$000 a saca.

Só assim o fazendeiro poderia retirar o seu capital e a compensação do seu trabalho".

LAVOURA PARA SITIANTES

"A formação de uma fazenda de café exige grande capital e garantia de lucros futuros. Daqui por diante, só virá a plantar café o sitianfe, e este nunca consegue produzir 100 arrobas por mil pés porque planta cereaes, fumo e até algodão nas ruas do cafezal, ficando com isso, as terras esgotadas e os cafezaes em começo de decadencia. É o que vem acontecendo em zonas como a Araraquarense e a Noroeste".

PRODUÇÃO DE CAFÉS FINOS

"A produção de cafés ótima qualidade exige machinario e cuidados que encarecem grandemente o produto. E é justamente desses cafés produzidos pelos grandes lavradores que os mercados extrangeiros são avidos por adquirir.

Torna-se necessario, o que o governo seja bem orientada nesse sentido, afim de melhorar, as condições dos grandes produtores, para a continuação dessa riqueza que constitue o maior sustentaculo da economia nacional.

A lavoura não tem pedido valorização; o que ela tem desejado é a defesa do mercado, que é coisa muito difernte.

Todo trabalhador espera, sempre a justa remuneração do seu esforço. E os lavradores de S. Paulo têm desbravado, sertões e plantado cidades, creando a imensa riqueza que chegou a ser um dia, a lavoura caféeira".

Novas providencias contra tuberculose na alemanha

O Lider do Departamento de Saúde do Reich, Secretario de Estado Dr. Conti, discursou na Universidade da Posnania, peranti o corpo medico e a população alemão wartheland, sobre as questões do estada sanitário popular. Apos ter lançado um olhar retrospectivo quanto aos feitos até agora levados a cabo pela Diretoria do Departamento de Saáde do Reich ao sentido do sempre crescente potencial da força popular alemão. O Lider da Saúde do Reich caracterisou a multiplicidade das incumbencias a serem preênchidas pelo seu Departamento, no vasto ambito dos territórios do léste, recem-reicorporados ao Reich.

Por aí tornou-se marcante o fáto de, a contar da êra polonêsa, ao lado da tuberculose e das molestias veneraes, ainda estavam vastamente grassantes, epidemias já ha muito tempo exterminadas no Reich, como sejam o tífo exantemático e a trachoma. Semelhante e perigoso fóco de infecção justamente do Reich, é atacado rigorosamente com todos os meios garantidos e em ação conjunta com as extensas medidas polonêsas e demagogicas, para serem creadas as exigencias concernentes à solução dos problemas racial-biologicos do Léste. Por ésta mesma ocasião, foi fundada uma Comunidade Trabalhista pró-combate à tuberculose, com a obrigação de permitir a todo o tuberculoso ou suspeito de tal, um imediato e rigoroso tratamento, sem consideração alguma quanto às despezas consequentes.

Para impedir eficazmente o alastramentamento mais amplo da epidemia, a parte habitada pelos polonêses, em cujas fileiras se deve procurar o fóco principal dessa terrivel moléstia contagiosa, ficou sugeita às estipulações fixadas no programa concernente ao combate da tuberculose.

FILMS

"TOKIO NO JOSSEI"

Romance de Tokio

A moderna mulher japonesa. Setsuko Kimizuka, a infelis jovem datilógrafa, na margem de uma penúria, luta, imolando-se para o bem da sua familia, despresando do genio feminino entra em ação como mechanica na fabrica de automoveis. Obstaculos, lutas, amor, etc. Com **Setsuko Hara** a estrela que brilhou na "Filha de Samurai". Breve!

«União de Rendas» e «A' Nova Alliança»

日本人
商業家諸君

當市に於て商品を仕入れらるゝ前に是非一度當方へお出下さい
呉服反物類、小物間類、流行柄の絹物等毎日直營の工場から澤山着荷して居ります。必ず御滿足なさるネゴシオが出來ます。
申すまでもなく當方は大資本を投じて大量生産の工場を經營し直接お客様の手にお渡し致しますので、何んでも安く仕入れられます。特にこの点ゞ御ふくみ下されてお試し下さい。
御照會は日本文にても差しつかへありません。御遠慮なく問合せて戴きたい。

ア・ノーバ・アリアンサ
(44)

«A Nova Alliança»

SALVADOR HANNUD & IRMÃOS e HANNUD & CIA.
RUA 25 DE MARÇO, 501 - SÃO PAULO

史料博物館が縁で勝海舟の秘話

長崎縣下で偶然發見さる

【長崎特信】明治維新の英傑安房勝海舟伯の若き日の秘話が目下開館準備中の長崎市史料博物館出品物の調査によつて明るみに出された。現在の長崎縣廳は、八十五年前の安政二年に創設された我が國海軍發祥の傳習所の跡であつて、オランダ皇帝から寄贈された觀光丸（スンビン）を傳習艦として海軍の訓練を行つた。當時勝海舟は安政二年の七月二十九日傳習生兼監督を命ぜられて長崎に來たが、海舟は傳習の余暇には闌人居住の出島に出入して、海外の智識吸收につとめた。安政六年四月傳習艦朝陽丸に乘つて長崎を去り、江戸に向つた、海舟は長崎滯在足掛け五年西阪町の梶邸（今の西阪町八十番地一帶）に寄宿して居たものであるが、海舟の來崎は、まだ三十歳の血氣盛んな時で、梶家の一人娘クマさんのやさしい氣立と、麗貌と海舟の若さといつしか結ばれ、海舟が江戸に歸つた安政六年にクマさんは十八歳で、海舟の忘れがたみ梅太郎が生れて居た、海舟はその後元治二年長崎に來てクマさんに會つたとも傳へられ、その後間もなくクマさんは海舟の無事を祈りつゝ、慶應二年一月二十八日、二十五歳を以つてこの世を去り、今福濟寺の後山にある梶家の墓地には『容學智顏麗光大姉』の墓標を殘して居るのであるが、その後、一子梅太郎は祖父母に養はれて、九歳の時叔父小谷野彦太郎に伴はれて上京し、勝家に引きとられた頃勝家の異母弟と一諸に撮影したガラス寫眞、及び尺三絹本の書幅、和歌、梶家で海舟が使用したといふ食膳が史料博物館に出品されることになつたので、現品はクマさんの姪に當る吉田テルさん（八八）中島トヨさん（五五）の秘藏品である。

玉碎あるのみ

つら〳〵思ふに阿附と媚態は日本男子の恥辱と心得る。如何に生き長らへる事が大切とは云へ心にも無き媚態は醜の醜なるもの大西郷曰はずや丈夫玉碎して瓦全を愧づ……と。

試寫を見て

すつと以前から豫告されセンスーラで手間どつた『東京の女性』の試寫會が先週の木曜日、サンタエレナで催されたので十數年振りに懷かしく故國の情趣に觀しむ事が出來た尤も此頃迄、新しき土、上海陸戰隊、五人の斥候兵、白蘭の歌等々相富嘗に上つた日本映畫が續々上映されたが、殘念な事に唯話だけ（筋の）は聞いてゐるがまだ一度も見にゆく機會に惠まれなかつたのである。

先づ銀幕にうつる梗概配役等の顏振れ紹介が時代の尖端を切つて出て來る如何にも氣の利いた映畫法で、是れから展開する映畫に對し洵に好いファーストインプレッションを與へる。その中にもこれだけに手際よく飜譯された苦心の程がうなづける。

場面はビルヂングの屋上庭園から初まつて、自分の戀人であつた人と妹の樂しそうな新婚旅行を見ては胸にやる瀨なき哀愁を抱き乍ら、その寂しい思を表にせず雄々しくも見送る節子の無言の表情に終る全場面を通じて、割に單調な筋を生かし拔くその底に潜んだ潑剌たる精神が、たゞ見物後に發する『あゝ好かつた美麗だつた』と云ふ言葉の外にあふれて、天涯放浪の我々に何とも云へぬ心强さを味はせる。

舊い女大學式の殼から拔け出して朗らかに伸び行く日本女性、勿論こゝに至るには戰爭も主なる原因の一つではあらうが本質的には女性それ自身の自覺にほかならぬのである。今更贅言する迄もなく、背ては敗殘の獨逸が臥薪嘗膽の後、然も僅々廿有余年にして國力を快復し遂に今次大戰に迄こぎつけたあの力の底には斯うしたかくれたる女性の泪ある努力のある事を忘れてはなるまい。

見るから蒲柳の女性が敢然目覺めて暗黑の淵から這ひ上り健氣にも絶へず或一點をみつめて猛進する、そこには言ふに云へない苦しみは横たはつてゐる、それを喘ぎつゝも乘り越へてゆく力强さが、無心の觀客へ我々もこうしては居れないといふ感激を與へてゐる。

映畫もたゞ目をたのしますだけの時代は過ぎ去つたやはり何か心を打つものでなければ物足りない。その點あまり變化のない、どちらかと云へばありふれた筋の『東京の女性』がこれほど印象的であるのは、そこに目に見えぬ何ものかゞ織り込まれてゐるからであるこんな種類のフイルムがどし〳〵とり寄せられて、甘い西洋物のフイルムの中に進出し、嚮てはそれ等を席捲する時の來らん事を切望する。それが延いては外人間に眞の日本及日本人の姿を認識させる最も効果的な手だてともなるのだから。

CASA - TERRENOS
HYPOTHECAS
Immoveis para industrias
Domingos Leardi
Corretor de immoveis desde 1918
Praça da Sé, 18
1.º andar
(0-32)

▽……△
家屋、土地
抵當金融
賣買

來りて得よ
職を勞力を!!
新生社職業紹介所
聖市コンセレイロフルタード二七三
電話 二一八三四九

孤兒遺兒にて扶養者引取人なき同胞兒童を御世話申上ます
新生育兒園
聖市ガルボンブエノ街七三二

東麒麟鳳

DR. ISMAEL CAMARGO
產婦人科一般 (0-18)
產前の手當ーヂアテルミー（短波）
姙娠中の診療
診療時間 自午後二時 至午後六時
診療所
聖市ルアパロン・デ・イタペチニンガ五〇ー二階 電話 四ー一〇七九
自宅ルアゼネラル ジャルヂン一八二 電話 四ー一八〇九

昭和拾六年度徵集延期ニ關スル告示

昭和拾六年度徵集延期關係者ハ左記事項心得ノ上昭和拾六年壹月卅壹日迄ニ在帝國外徵集延期願又ハ在留申告書ヲ差出スヘシ尚本件ニ關スル届出義務ヲ怠リタル場合ハ徵兵令規定ニ依リ嚴重處罰セラルルニ付特ニ注意ス

記

一、在帝國外徵集延期願
大正九年拾貳月貳日（西歷一九二〇年拾貳月貳日）ヨリ大正拾年拾貳月壹日（西歷一九二一年拾貳月壹日）迄ニ生レタル者（即チ今回初メテ徵集延期ヲ願ハントスル者）ハ在帝國外徵集延期願ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）

二、在留申告書
既ニ徵集延期ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ引續キ昭和拾六年度徵集延期ヲ願ハントスル者（明治卅六年拾貳月貳日（西歷一九三〇年拾貳月貳日）ヨリ大正九年拾貳月壹日（西歷一九二〇年拾貳月貳日）迄ニ生レタル者）ハ在留申告書ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）但シ昭和拾五年拾貳月壹日ニ年齡滿卅七年ヲ過クル者ハ在留申告書ヲ提出スル要ナシ

三、在留申告書及在帝國外徵集延期願ノ一日附一ハ昭和拾五年拾貳月壹日以降ト爲スコト、右書類ノ受付ハ便宜上拾壹月壹日ヨリ開始ス

四、在留申告書及在帝國外徵集延期願ハ直接管轄公館ヨリ本人ノ本籍地府縣廳宛四月拾五日迄ニ到着スル樣發送スルヲ要スルニ付必ス壹月卅壹日迄ニ提出スルコト

五、期日後ノ願出ハ之ヲ受理セス

六、願書ハ正副二通ヲ提出スルコト

七、手數料送付ノ要ナキモ願書到着ノ通知ヲ希望スル者ハ返信料同封ノコト

八、在帝國外徵集延期願及在留申告書ハ各管轄領事館宛提出スルコト

九、願書用紙ハ**プロツク**大ニテ必ス白紙タルコト可成地方青年會又ハ日本人會ニテ用紙ヲ統一シ願書ハ取纏メ提出スルコト

在留申告書及在帝國外徵集延期願ノ樣式左ノ如

一、本人　在留申告書　氏名
（生年月日）

二、本籍地　府市町村大字　番地
三、現在留地　伯國州縣驛郵區植民地

四、初メテ徵集ヲ延期セラレタル年月日　年月日
右及申告候也
昭和　年　月　日
氏名（印）

◉◉注意
イ、末尾ニ領事名ヲ記載セサルコト
ロ、證明餘白ヲ殘シ置クコト
ハ、母印ヲ忘レサルコト

在帝國外徵集延期願
一、本人　氏名（生年月日）
二、本籍地　府市郡縣町村大字　番地
三、現在留地　伯國州縣驛郵區植民地港出發
四、帝國內出發年月日　年月日
右之通帝國外ノ地ニ在留中ニ付兵役法第四十二條ニヨリ徵集延期相成度候也
昭和　年　月　日
右　氏名（印）
聯隊區徵兵官殿

◉◉注意
イ、領事名ハ記載セサルコト
ロ、證明余白ヲ殘シ置クコト
ハ、母印ヲ忘レサルコト
ニ、帝國內出發年月日ノ項ニ伯國生ノ場合ハ單ニ「伯國生」ト記載ノコト

昭和拾五年拾月壹日

在サンパウロ日本總領事館　郵函一一六七 サンパウロ市
同リベロン・プレート分館　同一四四リベロン・プレート驛
在サントス日本領事館　同六六六 サントス市
在パウルー日本領事館　同パウルー驛三〇A
在リオ・デ・ジヤネイロ日本領事館　同リオ・デ・ジヤネイロ市四二八
在ベレーン日本領事館　同ベレーン市パラー州